

学科では、学修成果の評価に関する方針を、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、機関（学校）レベル、教育課程（学科）レベル、科目（授業）レベルにおいて以下のとおり定めます。

1. 機関（学校）レベル

進路決定率、専門職就職率、卒業時満足度アンケート、進級時満足度アンケート、事業所アンケート、卒業生アンケート、保護者アンケート、学校関係者評価等から、学修成果達成状況を測定します。

2. 教育課程（学科）レベル

履修科目修得状況、授業評価アンケート等から、学修成果達成状況を測定します。

3. 科目（授業）レベル

STUDENT HANDBOOK で提示した「成績評価」に基づき、「到達目標」に掲げる知識、能力が身についているか、学修成果達成状況を測定します。

なお、成績評価は次の基準に基づき判定します。

A：80点以上、 B：70点～79点、 C：60点～69点、

N：科目履修認定（資格取得等で科目履修が認定される科目）

検証方法（アセスメントチェック） 以下の方法で検証します。

- ① 各種入学選考においてアドミッション・ポリシーの要件を満たしているか確認し、審査に活用します。
- ② 各科目のシラバスに記載された到達目標の達成を確認するため、定期試験、技術試験、小テスト、レポート課題をはじめとする提出物等で評価し、科目履修認定に活用します。
- ③ 校外実習において、実習先指導者からの評価等を、科目履修認定に活用します。
- ④ レストランマネジメント実習においてお客様からの評価等を、レストラン運営に関連する授業に活用します。
- ⑤ 京都府ふぐ処理師試験、全調協実技検定合格率により、教育レベルを評価し、教育課程の改善に活用します。
- ⑥ 進路決定率、専門職就職率、希望就職率、就職・進学希望者率の就職4指標により、進路状況を評価し、進路サポートの改善に活用します。
- ⑦ 各科目において授業評価アンケートを実施し、満足度の高い授業が実施されていたか評価し、授業の改善に活用します。
- ⑧ 進級時および卒業時にアンケートを実施し、教育・カリキュラム、就職サポート、学園生活に対する満足度を評価し、学校、学科運営の改善に活用します。
- ⑨ 卒業生及び事業所にアンケートを実施し、卒業生の活躍状況を評価し、教育課程の改善に活用します。
- ⑩ 保護者アンケートを実施し、学校、学科運営の改善に活用します。
- ⑪ 自己評価、学校関係者評価を実施し、学校、学科運営の改善に活用します。

参考
資料

| | 在学中 | 卒業時・卒業後 |
|-------------|--|---|
| 機関 レベル | <ul style="list-style-type: none"> ・進級時満足度アンケート ・自己評価・学校関係者評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート ・卒業時満足度アンケート ・卒業生アンケート ・事業所アンケート ・就職4指標（進路決定率、専門職就職率、希望就職率、就職・進学希望者率） |
| 教育課程 レベル | <ul style="list-style-type: none"> ・京都府ふぐ処理師試験合格率 ・全調協実技検定合格率 ・授業評価アンケート ・成績分布 ・レストランお客様アンケート | <ul style="list-style-type: none"> ・全調協実技検定合格率 ・卒業時満足度アンケート ・卒業生アンケート ・就職4指標（進路決定率、専門職就職率、希望就職率、就職・進学希望者率） |
| 科目レベル | <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・技術検定 ・小テスト ・提出物 | |